

ベンチマナーについて

選手について

- 控え選手のベンチ入り人数は、大会規定に定められた登録人数とし、メンバー表に記載されている選手する。
- 控え選手は、ビブスを着用する事。
- 控え選手は、座って観戦・応援する事。
- 控え選手の試合中のアップは、ボールの使用を禁止する。
- 選手交代は、交代ゾーンから退場選手が退場してからインプレー中に入場する事が出来る。
但し、GKはアウトオブプレー中に審判の許可を得て、交代することとする。
交代ゾーンには、スタッフが入ることは出来ない。

スタッフについて

- ベンチ入りスタッフは、**最大3名まで**とする。
※ベンチには、1名以上の大人が帯同する事。
- ベンチから指示できるスタッフは、試合を通じてチームで決めた**1名**とする。
※指示者以外のスタッフは、座っている事。(但し、ベンチが無い場合はその限りではない。)
- 審判の判定に対して異議・アピールを行わない。
- 亂暴な言葉を使用しない。選手(自チーム・相手チーム)に対して、暴言を浴びせない。
- 差別的な発言を行わない。
- ベンチにおいて、写真・撮影等を禁止する。

上記について、厳守できない場合は、退席処分等にする。

※退席処分を受けた指導者は、次の1試合ベンチに入ることが出来ない。

退席処分の理由によっては、少年委員会で協議の上、2試合以上の罰則を与える事もある。

※ローカルルールとして、大会本部より主審に進言出来るように、ローカルルールを設ける。

選手の試合前チェックについて

※チームにおいて、試合前にチェックを行っておくこと。

- 爪のチェック ※前日までに切っておく。
※爪のチェックは、(一社)横浜サッカー協会少年大会のローカルルールとし、長いと判断した場合は場させない。
- 靴のつま先が開いたり、破れたりしていないか。
- アンダーシャツの色が統一されているか。
- アンダーパンツ(スパッツ・タイツ等)が、パンツの色と同色か。